



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6445 URL http://www.janome.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞壁 八郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡部 知彦 TEL 042-661-3071
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	29,046	5.7	1,549	△5.8	489	△69.5	17	△69.9
24年3月期第3四半期	27,478	0.0	1,643	△12.7	1,602	11.4	56	△93.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 601百万円 (-%) 24年3月期第3四半期 △62百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	0.09	—
24年3月期第3四半期	0.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	49,902	15,473	30.0	77.48
24年3月期	49,703	14,891	28.9	74.40

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 14,977百万円 24年3月期 14,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	5.3	2,000	△15.0	700	△66.7	100	△51.8	0.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料2ページ「サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	195,214,448株	24年3月期	195,214,448株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,894,389株	24年3月期	1,893,155株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	193,320,561株	24年3月期3Q	193,321,779株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
4. 補足情報	10
(1) 所在地別セグメント情報	10
(2) 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、中国での景気拡大が鈍化したことや欧州財政問題の影響により減速基調が続きました。また米国では景気回復の動きも見られましたが、失業率改善の遅れにより力強さを欠く展開が続きました。

わが国経済におきましては、東日本大震災後の復興需要等により、一部改善傾向がみられましたが、デフレや円高傾向が続いた結果、依然として厳しい経営環境となりました。

当社グループにおきましては、ミシンや産業機器製品の価格競争が激化する中、徹底した製造コストの削減で価格競争力を強化するとともに、積極的に市場開拓を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期の総売上高は29,046百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は1,549百万円(前年同期比5.8%減)と堅調に推移いたしました。また、事業再編損を営業外費用として計上したことにより、経常利益は489百万円(前年同期比69.5%減)、四半期純利益は17百万円(前年同期比69.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〈家庭用機器事業〉

海外ミシン市場におきましては、ロシア、アジア地域での販売、相手先ブランド名での製造販売(OEM供給)が順調に推移いたしました。また、新機種を投入するなど、積極的に市場開拓へ注力したこと等により、海外ミシン販売台数は145万台(前年同期比約17万台増)と大幅に伸びた結果、海外売上高は17,772百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

国内市場におきましては、アベノミクスへの期待感から景気回復の兆しを見せてきておりますが、景気回復の消費者動向への実際の影響につきましては先行きまだ不透明であり、家庭用ミシン、24時間風呂販売ともに低調な動きとなりました。特に家庭用ミシンにおきましては、低価格機種の販売台数の減少が響き、国内のミシン販売台数は14万台(前年同期比約2万台減)となりましたが、中・高級機種の販売に注力した結果、国内売上高は小幅減少の5,620百万円(前年同期比4.2%減)にとどまりました。

以上の結果、家庭用機器事業のミシン販売台数は過去最高の159万台となり、売上高は23,393百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は1,090百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

〈産業機器事業〉

産業機器事業におきましては、携帯電話等の情報端末機器製造企業や家電、自動車等の部品製造企業向けに積極的な販売活動を展開いたしました。その結果、下期に入り減速傾向を示しているものの、特に上期における大幅な販売台数の伸張により、卓上ロボット・エレクトロプレスの販売台数が約3,500台(前年同期比約500台増)に増加し過去最高となりました。

ダイカスト鋳造関連事業につきましては、東日本大震災後の生産活動が徐々に回復する中、自動車関連企業等からの受注を着実に伸ばしました。

その結果、産業機器事業の売上高は3,765百万円(前年同期比14.5%増)、営業利益は468百万円(前年同期比17.3%増)となりました。

〈その他事業〉

景気の先行き不透明感の広まりからIT投資意欲が軟化した影響を受けたITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービスならびに不動産賃貸収入等を加えたその他事業の売上高は1,888百万円(前年同期比6.1%減)となり、営業損失は4百万円(前年同期は14百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は49,902百万円(前連結会計年度末比199百万円増)となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少等により20,473百万円(前連結会計年度末比130百万円減)となりました。固定資産は投資有価証券の増加等により29,429百万円(前連結会計年度末比329百万円増)となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の増加等により17,840百万円(前連結会計年度末比9百万円増)となり、固定負債は長期借入金等の減少により16,589百万円(前連結会計年度末比392百万円減)となりました。

純資産の部は、為替換算調整勘定の増加等により15,473百万円(前連結会計年度末比582百万円増)となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から1,320百万円減少し、4,564百万円（前年同期比1,699百万円減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益468百万円、たな卸資産の増加683百万円、仕入債務の減少192百万円などによる資金の増減があり、30百万円の資金の減少（前年同期は210百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、機械・金型等の有形固定資産取得による支出595百万円などにより、959百万円の資金の減少（前年同期は602百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加716百万円、長期借入れによる収入1,250百万円、長期借入金の返済による支出2,240百万円などにより、332百万円の資金の減少（前年同期は40百万円の資金の増加）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期業績見通しについては、アジア市場における設備投資の急激な減速により当社産業機器事業に対する影響や原材料価格の動向等に先行き不透明な要因があることを踏まえ、平成24年11月6日に公表いたしました平成25年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（未実現損益の消去方法の変更）

従来、連結会社間の棚卸資産の売買に係る未実現損益は、購入先における外貨建資産残高に売却元の利益率を乗じた外貨額を、決算時の為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第3四半期連結会計期間より購入先での資産保有期間に基づいて計算した平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、当社グループの海外における売上高の割合が増加したことにより、海外子会社の在庫の重要性が増したこと、また、当第3四半期連結会計期間における為替相場の変動による影響が大きくなったことから、未実現損益をより適切に連結財務諸表に反映させるためのものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,639	5,386
受取手形及び売掛金	6,286	6,449
商品及び製品	3,909	4,587
仕掛品	611	586
原材料及び貯蔵品	2,304	2,696
その他	984	910
貸倒引当金	△133	△143
流動資産合計	20,603	20,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,420	6,238
土地	15,792	15,827
その他（純額）	2,120	2,413
有形固定資産合計	24,333	24,479
無形固定資産		
のれん	668	543
その他	1,114	1,261
無形固定資産合計	1,782	1,804
投資その他の資産	2,984	3,145
固定資産合計	29,099	29,429
資産合計	49,703	49,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,650	3,295
短期借入金	11,030	11,531
未払法人税等	284	231
賞与引当金	403	252
事業再編引当金	398	285
その他	2,061	2,243
流動負債合計	17,830	17,840
固定負債		
長期借入金	7,422	6,961
再評価に係る繰延税金負債	4,420	4,420
退職給付引当金	4,476	4,499
その他	663	707
固定負債合計	16,982	16,589
負債合計	34,812	34,429

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
資本剰余金	823	823
利益剰余金	△1,934	△1,917
自己株式	△325	△325
株主資本合計	9,936	9,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	60
繰延ヘッジ損益	△12	△10
土地再評価差額金	6,572	6,572
為替換算調整勘定	△2,128	△1,597
その他の包括利益累計額合計	4,446	5,023
少数株主持分	507	495
純資産合計	14,891	15,473
負債純資産合計	49,703	49,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	27,478	29,046
売上原価	15,874	17,418
売上総利益	11,603	11,628
販売費及び一般管理費	9,959	10,079
営業利益	1,643	1,549
営業外収益		
受取利息	15	17
受取配当金	20	17
貸倒引当金戻入額	—	46
為替差益	253	—
その他	75	90
営業外収益合計	364	171
営業外費用		
支払利息	313	286
為替差損	—	161
事業再編損	—	690
その他	92	93
営業外費用合計	405	1,231
経常利益	1,602	489
特別利益		
固定資産売却益	9	1
特別利益合計	9	1
特別損失		
投資有価証券評価損	28	10
固定資産除売却損	42	12
減損損失	13	—
事業再編損	500	—
退職給付制度終了損	239	—
特別損失合計	823	23
税金等調整前四半期純利益	788	468
法人税、住民税及び事業税	410	424
法人税等調整額	297	43
法人税等合計	708	467
少数株主損益調整前四半期純利益	79	0
少数株主利益又は少数株主損失（△）	22	△16
四半期純利益	56	17

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79	0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	44
繰延ヘッジ損益	1	2
土地再評価差額金	627	—
為替換算調整勘定	△728	554
その他の包括利益合計	△141	601
四半期包括利益	△62	601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33	594
少数株主に係る四半期包括利益	△29	6

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	788	468
減価償却費	708	719
のれん償却額	124	124
退職給付引当金の増減額（△は減少）	268	46
受取利息及び受取配当金	△35	△35
支払利息	313	286
投資有価証券評価損益（△は益）	28	10
売上債権の増減額（△は増加）	△898	29
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,089	△683
仕入債務の増減額（△は減少）	284	△192
その他	328	△133
小計	820	640
利息及び配当金の受取額	43	37
利息の支払額	△255	△245
法人税等の支払額	△398	△462
営業活動によるキャッシュ・フロー	210	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△57	△304
定期預金の払戻による収入	77	300
有形固定資産の取得による支出	△352	△595
有形固定資産の売却による収入	65	4
その他	△335	△363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△602	△959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,199	716
長期借入れによる収入	1,900	1,250
長期借入金の返済による支出	△3,000	△2,240
その他	△59	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	40	△332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△177	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△528	△1,320
現金及び現金同等物の期首残高	6,792	5,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,263	4,564

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,178	3,288	25,466	2,011	27,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	750	778	836	1,615
計	22,206	4,039	26,245	2,847	29,093
セグメント利益又は損失(△)	1,286	399	1,685	△14	1,671

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,685
「その他」の区分の損失(△)	△14
セグメント間取引消去	△27
四半期連結損益計算書の営業利益	1,643

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,393	3,765	27,158	1,888	29,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	596	627	819	1,446
計	23,424	4,361	27,785	2,707	30,493
セグメント利益又は損失(△)	1,090	468	1,558	△4	1,554

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,558
「その他」の区分の損失(△)	△4
セグメント間取引消去	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,549

4. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	18,652	3,892	643	4,289	27,478	—	27,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,042	—	11,280	1	17,325	(17,325)	—
計	24,694	3,892	11,924	4,291	44,803	(17,325)	27,478
営業利益	695	460	221	323	1,699	(55)	1,643

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	20,275	4,118	446	4,206	29,046	—	29,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,245	—	12,743	35	19,024	(19,024)	—
計	26,520	4,118	13,189	4,242	48,070	(19,024)	29,046
営業利益	600	374	346	373	1,695	(146)	1,549

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,114	6,349	7,019	17,483
II 連結売上高(百万円)				27,478
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.0	23.1	25.5	63.6

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,268	7,223	7,701	19,193
II 連結売上高(百万円)				29,046
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.7	24.9	26.5	66.1

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

- ① 北米………米国、カナダ
- ② 欧州………イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア
- ③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米